



# 歯科医師コラム

H27. 5. 29.

## VOL. 2 世界一の感染症 歯周病ってなに？

歯には“怪我”と“病気”があります。

歯の怪我の代表が“齲蝕(虫歯)”であることは皆さんもよく御存知だと思います。歯に穴が空き、痛みも激しく噛めないなどの症状も

出るため分かりやすいはずですが、それに比べ、歯の病気の代表である“歯周病”を気にされている方は少ないのではないのでしょうか。まさか自分が歯周病なんて…と思われる方がほとんどかもしれません。

それでは… 以下の項目に心当たりはありますか。

- 歯ブラシが血で染まる事がある
- 歯のクリーニングに通った記憶が無い
- 口臭が気になる事が多い
- 最近、すきっ歯になった気がする

いかがでしょうか？ この質問に、ひとつでも当てはまるようであれば、重症度はともあれ歯周病になっていると考えたほうがよいでしょう。

日本における15歳以上の有病率は74.12%、患者数は8000万人とされています。歯周病は世界で一番多い感染症なのです。

では、自分が歯周病であった場合、どうしたら良いのでしょうか。

たしかに、放置し重症化し困る事も稀にありますが、基本的に焦る必要はまったくありません。歯周病そのもので死に至ることはありませんし、また簡単に完治するものでもありません。世界一の感染症で有り続ける理由はそこにあるかもしれません。

歯周病にならないための対策、そして治していくための入り口はとてもシンプルです。口の中を清潔にすることが全ての基本なのです。歯を丁寧に掃除することにつきます。できれば、歯科健診を受けてみてください。健診の結果をもとに、歯科衛生士さんにどのような歯ブラシでどのように磨くのかを相談し、専門的クリーニングを年2回のペースで受けてみてください。そうする事で、ご褒美も待っています。

- 美味しいものがより美味しく感じるようになった…味覚が敏感になるから
- 家族や友人などと会話を楽しめるようになった…口臭や着色が気にならなくなるから
- 健やかで、若く見られるようになった … 自信を持って笑えるから

これらは、実際に歯科衛生士さんによるクリーニングを受けた方々からいただいた代表的コメントです。心身健やかになっていくことを、

歯科衛生士さんと一緒に実感できるはずですよ。歯周病は世界一の感染症です。いつでもだれでも罹ってしまう可能性が高いものです。

30歳を過ぎた時点から、より一層お口の清掃を意識し、歯科健診を定期的を受け、治療でなく歯周病予防をともに推進するための歯科クリニックとの付き合い方を確立することをお勧めします。



プレミアムデンタルケア恵比寿・代官山  
歯科衛生士:安岡亜依子/院長:高井基普

E-MAIL [info@premium-dc.com](mailto:info@premium-dc.com)

TEL 03-3780-5599

< 院長略歴 >

平成 10 年 岡山大学歯学部卒業

平成 19 年 UCLA Center of Aesthetic ショートタームフェロー

平成 19 年 東京ミッドタウンデンタルクリニック院長就任

平成 23 年 プレミアムデンタルケア恵比寿・代官山 開業

現在に至る